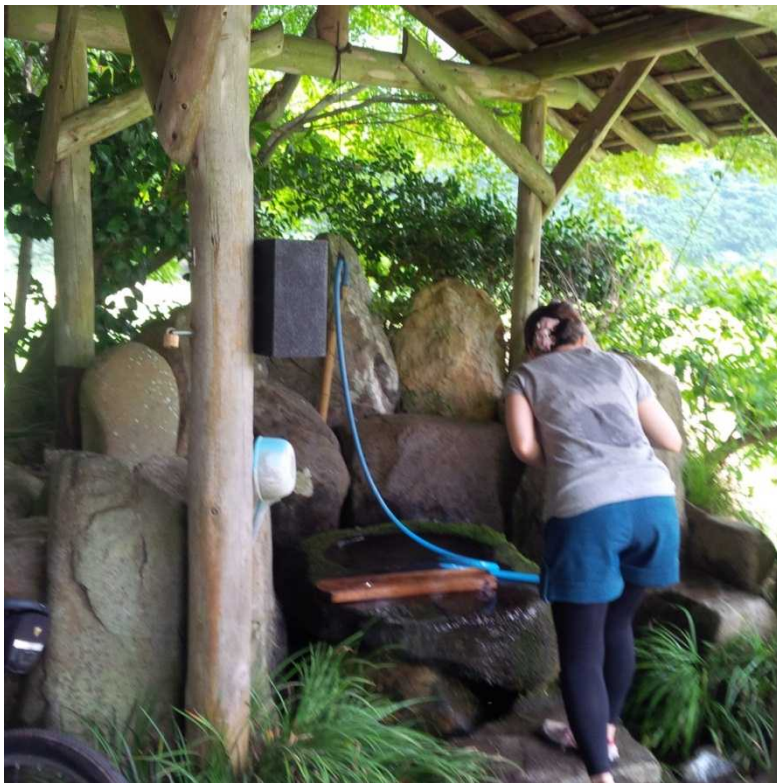


丹波の水

かじかの郷の前に流れている川の水は綺麗だ。加古川の源流とも言われている。

近くには「銚子ヶ水」といって、とんちで有名な一休さんが名付けたという飲むこともできるおいしい水が湧きでる場所もある。



米がおいしい、野菜がおいしい。蕎麦がおいしい。

その「おいしい」の根源となっているのが、やはりこの加古川の源流の水ではないだろうか？

この貴重でミネラル豊富な天然水は作物に吸い上げられ、みずみずしい野菜の元になっている、その天然水は水路整備等の費用を考えなければほぼ無料なのである。

砂漠で海水から飲料水や生活用水を作り上げているドバイ。汚い水をいかに飲料用にかえられないかという課題を抱えているアフリカ。

そういう国と比べれば、このような綺麗で有用な水がほぼ無料で手に入る日本、丹波というのはなんてすばらしくて良い所なのだろうと今回の滞在で再認識する事になった。

余談ですが、なぜか青垣町の水道水もおいしい。

私を訪れてくれた友人達も水道水が旨いと絶賛していました。